

皆さんお元気ですか。

11月の出来事を綴っています。ご覧くださいませ。



私は、10月23日から約一ヶ月間、健康診断の受診のため一時帰国していた。この間、合気道本部道場で稽古したり、合気道仲間に会ったりして、ニカラグアでの生活などを話した。皆さん一様に「ニカラグアは、どう？」と尋ねるが、私は、手放しで良い国とは言えないと、答えていた。逆に日本に帰ってきて、日本は、本当にいい国だと五感で実感した。インフラや衛生面、料理、人間性などどの面をとってもいい国だと思う。

日本の新聞にニカラグアの記事(左写真、朝日新聞)が掲載されていたので驚いた。それも第1面に載っていた。この記事には、中央アメリカでは、一番治安のいい国だと記載されているが、私もそう思う。しかし、経済格差が大きくて貧困層の人たちが多いことも実感する。



11月5、6日の二日間、栃木県的那須高原に登山にいった。そして、朝日岳の麓にある山小屋で一泊した。初日は、本当にいい天気で麓の紅葉もきれいだった。日本には四季おりおりの風情があつていいなあと実感した。私の住んでいるマナグアは、年中同じような暑さが続き、季節の変化を味わうことができない。きっと気候がその土地に住む人間の性格も変えるのだと思う。しかし、ニカラグアの北部は、標高1300mくらいである。この地方に住んでいる人は、標高の低い首都マナグアに住んでいる人とは性格が違うのだろうか。ニカラグアに帰ったら、北部地方に旅行に行つて確かめてみよう。



一泊した山小屋では、朝食が膳に盛られてでてきた。ニカラグアでは、少しの生野菜、米や豆飯、肉類、バナナの揚げ物などすべてのおかずがひと皿に盛られるので、この膳を見て感動した。これだよ日本は！、と思わず叫びたくなった。私は、この山小屋でこんな料理がでてくるとは思いもよらなかった。この日は、本当に行楽日和で、この部屋から見る夕日も本当にきれいだった。しかし、翌日の天候は、昨日とは打って変わって、朝から激しい風と濃霧で先が見えなかった。下山途中の山の斜面を歩いていたとき、突風にあおられ谷に転げ落ちそうになった。しかし、下山して駐車場についたときは、またいい天気です。ホッとした。久しぶりに、日本で紅葉を見て、檜の風呂に入れて、東北の秋をしみじみ味わえてよかった。ニカラグアには帰りたくなかった。



一時帰国中に一度私の実家に寄った。私の故郷は滋賀県で彦根市と長浜市の中間にある。ニカラグアの生徒のなかには、日本の歴史や武道に興味があり、特に武士の鎧や刀に興味を持っている人が多い。そこで、日本の国宝に指定されている彦根城やその博物館、日本庭園などをニカラグア人に紹介したくて訪れた。左写真は、彦根城に隣接する日本庭園の「玄宮園」である。この園は、映画「武士の一分」のロケ地として使われたそう。池、家、背後の城、そしてその周りに紅葉した樹々。本当に日本って、素晴らしいと実感した。池の前にあるベンチに腰を落としてジッと眺めていた。ニカラグア人は、このような風景を何と感じるのだろうか。ニカラグアでは、立派な教会の周りに、必ず公園がある。池はない。しかし、WiFiは使える。携帯電話をいじくっている若者が多い。だれもがその公園で気軽に遊んでいる。



11月21日、ニカラグアに戻る途中のトランジットとして、アトランタ空港に着いた。午後五時前だったが、空港内のテレビでは、日本の地震のニュースが報じられていた。最初見たとき、以前にあった東日本大震災のことがとっていたが、昨日の福島での地震と知って驚いた。一瞬、関東地方はどうかと心配になった。その後無事にニカラグアの空港についた。その数日後、ニカラグアでも地震があった。

空港の入国審査口で、審査官は私の顔を見て、あなたを知っています。道場の人でしょう、と言った。私はこの人を知らないのでびっくりしたが、丁寧に対応してくれてうれしかった。その後税関を通ったら、荷物検査をされた。今回私は、日本の食べ物を段ボールひと箱とスーツケースにいっぱい詰めて持ってきた。係官に別の事務所に連れていかれ、食べ物の持ち込みですので、この書類に署名しなさいと言われた。そしてその後3ドル払いなさい、と言われた。安い金額でホッとした。でもこの3ドルは、係官の懐に入ったような気がする。なぜなら書類のコピーはくれたが、領収書はくれなかったから。



11月23日、家に猫がきた。実は、生徒の一人が飼っている猫で、子供が生まれたので一匹くれたのである。生後3か月くらいだと思うけど、非常にりこうだ。私が作った砂の入った段ボールにちゃんとおしっこをする。部屋が汚れることを心配していたが、まったく問題ない。特にしつけをしたわけでもないのに。前の飼い主がよかったのだろう。任期がおわったら日本に持って帰りたい。私が歩くところは、どこでもついてきて、足にまとわりついてくる。寝るときも枕元によってくる。

LINEで私の家族にこの写真を送ったら、みんな「可愛い」とすぐ返信してきた。私がメールでこのNIC便りを送っても何の返事も無いのに！どう言うこと？この猫のおかげで、私の孤独感も遠のいた感じがする。子猫がきてくれてよかった。後は、この猫に私のスペイン語を教えたい。呼んだらすぐ来てくれるように。